

Gomi Gennyō

G. G ふうしん



道端の色づいた樹木に秋の深まりを感じる時期になりました。
今月号では、先月に取りまとめが終わった平成 26 年度のごみ処理経費をお知らせします。一体いくらのお金がかかっているのでしょうか？

vol. 43
発行 2015/11/5

■ 26 年度のごみ処理経費をお知らせします！！

総額76.5億円！前年度比1.6億円の増！

市では、「ごみにいくらお金がかかっているの？」「税金からいくらごみの処理にお金を出しているの？」といった疑問にお答えするため、毎年度ごみ処理にかかった経費を「ごみ処理経費」として取りまとめています。10月7日に開催された浜松市環境審議会で平成26年度ごみ処理経費を報告・公表しました。

今回はこの「ごみ処理経費」の内容をご紹介します！

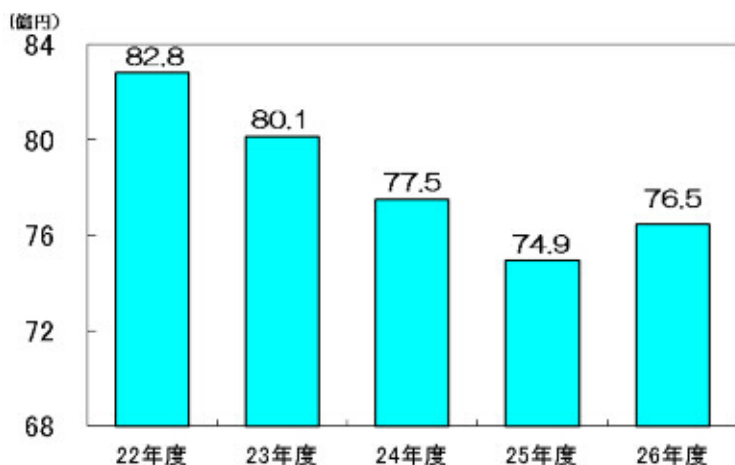


毎年増えてるの？減ってるの？

22年度に82.8億円であった経費は、25年度には74.9億円となり過去最少となりました。これは清掃施設の整理統合、清掃施設の大規模修繕が一段落したことなどが要因です。

26年度は76.5億円となり、25年度から1.6億円の増加に転じました。これは、26年度からの消費税率変更（5%→8%）により委託料などが増加したことが主な要因です。消費税の影響により増加に転じたものの、低い水準は継続しています。

<図1> 処理経費の推移



整理統合により 22 年度に 5 か所あった清掃施設は 25 年度に 3 か所に減ったのじゃ！
大規模修繕は 21～23 年度に南部清掃工場 1 か所で実施したもののじゃ！



©浜松市





1トンあたりの処理単価や市民1人あたりではどうなっているの？

26年度の1トンあたりの処理単価<図2>は**31,871円**となり、前年度から継続して増加しました。これは処理経費の増加によるものです。また、市民1人あたりの処理単価<図3>は**9,663円**となり、前年度から219円の増加となりました。

ごみ処理は量の多少に関わらず必要となる経費（固定費）の割合が高く、人口減少に伴うごみ量の減少による経費（変動費）の割合が低く、ごみ減量が経費削減に直結しにくい構造です。

<図2> 1トンあたりの処理単価推移



<図3> 市民1人あたりの処理単価推移



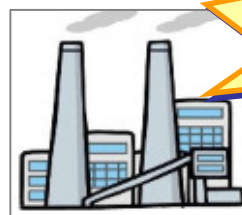
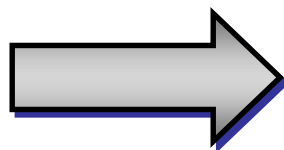
処理経費を減らすにはどうすればいいの？

清掃工場の建設を例にすると、仮に現在のごみ量がずっと続くと大きな処理能力の清掃工場を建設する必要があります。当然、能力が大きな工場を建設するには多額の経費がかかりますし、年間の維持管理費等多額となります。もし、能力を減らして建設することができれば、建設費はもちろん、年間の維持管理費等も削減できるのです。継続的かつ大きなごみ減量が達成されれば、新しい工場の計画段階から能力を減らした計画を検討できるのです。

○南部清掃工場450トン/日を新清掃工場399トン/日の計画で建設予定



規模縮小により建設費、維持管理費減



建設しなければさらなる削減効果が！？

ごみ処理経費の削減は今後の大きな課題です。市でも長期的な視点にたち、ごみ減量施策、処理効率化を推進してまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願いします。



■ 『生ごみ堆肥化容器』を無料配布します！！

生ごみ堆肥化容器を無料配布します！

条件・応募方法

市内に住所を有し、容器を使うことができる方、配布日に受け取りに来ることができる方、今年度初めて堆肥化容器を希望する方、アンケートに協力できる方が対象です。

往復はがきの往信用に希望する容器（①密封発酵容器または②コンポスト容器）、住所、氏名、電話番号、受取希望場所を、返信用に宛名を書いてごみ減量推進課（〒432-8023 中区鴨江三丁目1-10）へ郵送してください。（1世帯につき、1通の応募。）

※応募締め切りは12月11日（金）です。（当日消印有効）

※配布個数は800人程度（応募者多数の場合、抽選。抽選結果は1月中旬にお知らせします。）

配布場所・日時

○中、東、西、南、北、浜北の各区役所で受け取り希望の方

⇒平成28年2月27日（土）午前9時～11時

○天竜区役所及び春野、佐久間、水窪、龍山の各協働センターで受け取り希望の方

⇒平成28年2月22日（月）～26日（金）の開庁時間内

①密封発酵容器



直径 33cm 程度
高さ 40cm 程度

発酵促進剤（EMほか）を使用して生ごみを発酵させ、発酵した生ごみを土に埋めることにより堆肥にします。

②コンポスト容器



直径 70cm 程度
高さ 60cm 程度

畑や庭など地面に埋め込む形で設置し、土の中の微生物等の働きにより生ごみを堆肥化します。

■ 大都市減量化・資源化共同キャンペーンを開催しました！！

「3Rとごみ減量のススメ」店頭キャンペーン

10月は3R推進月間です。大都市減量化・資源化共同キャンペーンとして、10月15日（木）にイオンモール浜松市野、10月20日（火）にプレ葉ウォーク浜北で店頭イベントを開催。来場者の皆様に「3Rとごみ減量」についてアンケートやごみ減量についてPRを行いました。



Reduce **出さない**
Reuse **再使用**
Recycle **再生利用**

生ごみをひとしぼり！
グランプリに向けてもう一押し！
みんなにお願いするのじゃ！



中央図書館でもパネル展示をしました。



G. Gつうしん

生ごみの水切り・ひとしぼり徹底！ 雑がみは分別して資源物回収へ！

目指せ好感度アップ！まずは明るい笑顔から！

10月27日、平和清掃事業所において、南・平和の両清掃事業所の職員合同による「職員コミュニケーション能力向上研修」を開催しました。この研修には両清掃事業所で連絡ごみなどの収集に従事する職員らが31名参加し、市民サービスのさらなる向上に向けた接遇について勉強しました。

研修の中では、まず市民が職員に期待していることを再確認しました。正しいお辞儀のしかた、好感をもたれる第一印象の作り方など、基本的な対応方法について学びました。

また、事例研究では、実際のごみ収集の現場において起こり得る場合を想定して、二人一組で対応方法を研究発表しあいました。

皆様方も一緒に考えてみるのじゃ！！

☆事例研究☆「こんなときどうする？」

- Q1.連絡ごみの回収時に、ついでにテレビを回収してと頼まれたとき
- Q2.狭い道で収集しようとした時、停車中の車の移動をお願いしたいとき
- Q3.狭い道で収集していた時、ごみ収集車が邪魔で通れないと言われたとき



■ 27年度家庭系「もえるごみ」9月速報値をお知らせします！！

家庭系もえるごみ **11,760トン(Δ462トン)**

平成27年4月からの1人1日当たり平均 **499グラム**

新目標439グラム!

3か月連続減量じゃ！このペースでごみ減量じゃ！！



※27年度からは浜松市一般廃棄物処理基本計画に基づき推計人口を用いて算出しています。

■家庭系もえるごみ月別推移

(単位:トン)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
27年度	11,982	12,058	12,555	12,273	11,505	11,760						
26年度	11,835	12,351	11,689	12,505	11,714	12,222	11,508	10,339	12,533	10,848	9,166	11,623
前年度比	147	Δ 293	866	Δ 232	Δ 209	Δ 462						

